

会報

シルバー やまがた

第122号 平成28年4月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会
正会員数 989名 賛助会員 45個人・54団体(3月末現在)



文翔館の桜 (広報部撮影)

—— 内容紹介 ——

P2 平成28年度を迎えて

P3 会員の状況・就業状況について

P4 女性部会だより

P5 わが街自慢

P6~7 会員のひろば

P8 就業会員を訪ねて

P9 人あり・技あり・心あり

新入会員紹介

P10 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

平成二十八年度を迎えて

理事長 長瀬 洋男



安全就業の徹底を目指して

目標「三年間事故ゼロ」

平成二十八年度は、平成二十六年に策定された「新中期事業計画」の二年目にあたることから、平成二十七年事業の検証を行い、同計画の後期の取り組みに向けて修正を行ってまいります。

基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、シルバー事業の推進に取り組んでまいります。特に平成二十八年度のシルバー就業の実施においては、安全就業推進委員会を中心として『三年間事故ゼロ』の重点目標を掲げ、全会員・役員が一丸となり安全意識の啓蒙に努めてまいります。

シルバー派遣事業の拡大を

平成二十八年度から、国からの補助金の交付条件が大きく変わりました。シルバー人材センターに対するこれまでの人件費と管理費に係る運営費から、事業に対する補助金に重点が置かれます。新たに、派遣事業実績を要件として、地域就業機会創出・拡大事業と、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を中心に補助金交付体系が組み込まれました。

センターの健全な運営を維持するためにも新規就業先の開拓や新入会員の増加を目指すことは喫緊の課題であり、会員の皆さんと役員が一体となって取り組んでいかなければなりません。

新規就業開拓に成果

会員皆様のお陰をもちまして、請負事業における受注実績、延就業人員数も前年度に引き続き増加傾向に

あります。

また、平成二十六年度は、地方経済の好転が期待できない状況から大型量販店や大型電気店からの派遣受注がなくなるなど、厳しい情勢が続いておりましたが、昨年度は新規就業開拓の成果があり、派遣事業実績も好転いたしました。

今後引き続き、新規就業開拓に取り組んでまいります。

イチイチ運動の

積極的な展開を

昨年度は、一年ぶりに会員数が増加に転じました。役員による街頭啓発活動の他、世話役会や地区研修会においてイチイチ運動の展開を呼び掛けてまいりましたが、今年度も引き続き、会員の皆様のご協力をお願いし、会員の増加に取り組んでまいります。

我が国の六十五歳以上の高齢者人口は三千万人を超え、総人口に占め

る割合も二十五%を超えています。さらに団塊の世代すべてが六十五歳に到達し、シルバー人材センター事業の役割は、地域社会活性化のための中核事業としてますます重要になっていきます。

こうした中、厚生労働省においては、地域の実情に応じ、高齢者のニーズを踏まえた多様な就業機会を確保する観点から、現行、臨時的かつ短期的又は軽易な業務に限定されているシルバー人材センター等の取り扱う業務の要件緩和が検討されています。派遣・職業紹介に限り、週四十時間までの就業を可能とする法改正が検討されています。

当センターにおいては、今後とも会員の要望・ニーズの検討を行いながら、適切な業務の執行に取り組んでまいります。



会員の状況・就業状況について

(平成27年9月～平成28年2月末まで)

①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備考
27.8.31			918	
9 月	7 (男6、女1)	0	925	
10 月	5 (男4、女1)	1 (男1、女0)	929	
11 月	8 (男6、女2)	0	937	
12 月	6 (男4、女2)	1 (男0、女1)	942	
1 月	18 (男14、女4)	0	960	
2 月	10 (男9、女1)	0	970	
合 計				男 :746 女 :224

②就業状況

区分	職群	就業延人数	備考
一般受注	技 術 群	95	経理事務、パソコン作業 など
	技 能 群	21,507	襖張り、障子張り、剪定 など
	事 務 整 理 群	2,525	賞状筆耕、統計事務 など
	管 理 群	24,081	駐車場管理、施設管理 など
	折 衝 外 交 群	188	量販店での作業 など
	一 般 作 業 群	17,046	除草、草刈り、清掃 など
	サ ー ビ ス 群	819	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	66,261	
独自事業	自 転 車 再 生	60	
	家具リサイクル	3	
	即 売 会	18	
	計	81	
子育て支援	子 育 て 支 援	428	
合 計		66,770	
派遣事業		4,385	

女性部会だより

女性部会長 村田せつ子

皆様に感謝

ポランティア活動二つ

1 バザー

バザーの収益金五万円は児童養護施設山形学園の子供達へ加湿器二台分として寄贈しました。
「インフルエンザが猛威のさなか予防に役立ちました」と大変喜ばれたところです。

このたびも、佐藤孝弘山形市長より、感謝状を賜りました。



2 未使用タオル一本運動

会員皆様と一緒にという仲間とのかかわりを求め、地域のみなさまに少しでもお役にいただきたいの

思いから、会員の就業先二か所の福祉施設へ未使用タオルを寄付しました。

特別養護老人ホーム 福寿乃郷さん、小規模特別養護老人ホーム東部の郷さんへ二百本ずつを、会員皆様の思いやりの心をすこだま詰め込んでお届けしました。「重宝します」と感謝のお言葉をいただいたいております。

タオルの寄贈は過去最高人数の会員皆様からご協力頂きましたが、紙面の都合で紹介できませんので、号外紙にてご紹介いたします。



創作品展示即売会

年二回の実施で今年度は三百六十点の出品。個性豊かで独創的な自転車椅子カバー、高瀬焼、おなじみ実

用的エコバック、人気のあるかわいい押し絵の人形など多種多様、素晴らしい作品が勢ぞろい。次年度はさらにパワーアップしますのでご支援ご協力よろしくお願いいたします。

「しるんばコミサロン」あれこれ

しる

シルバーのしる

んば

パワフルばんちゃん (おばあちゃん)

コミ

コミュニケーション

サロン

おしゃべりの場

四回開催

健康をつくるレクリエーション

健康の極意

笑顔で懐かしいリズムにのってからだを動かす (踊りましょう)

スポーツ県民歌とじゃんけん

体操を踊りました。

鈴木豊喜芳氏・鈴木豊喜栄氏

九月 折り紙教室

立体的な傘づくりで 頭の体操と 脳の活性化に!

塩野美智子会員

十二月 デコケーキづくり

りっぱなクリスマスケーキが

できました。美味しいケーキ

でした。

布施与志雄会員
三月 ひなまつり茶話会 (いちご大福づくり)

老舗の和菓子職人の技を学びました。美味しく、楽しいひとときを過ごしました。

布施与志雄会員

参加するかしらないかではなく、まずはきてみてからっしやい。

ものつくりをしてお茶を飲みながら、ワイワイ、がやがや いつも楽しく笑いがいっぱいです。話が弾み、交流の場、人の輪がひろがります。二十八年度は新しい企画に挑戦します。さらに楽しくどこまでも笑顔です。

五月は笹巻きづくりです。しるんばの腕のみせどころ。詳しいご案内は後日いたします。



第五地区

佐藤 武則

第五地区のうちでも、私の住んでいる五小周辺は道路整備等が進み、すっきりした新しい街並みに生まれ変わってきました。私は散歩しながら、子供時代良く遊びまわっていたころの古い家並みを思い出し、懐かしい気持ちになることがあります。

ます。庭園にある池は、季節の木々を美しく水面に浮かび上がらせてくれます。殊に、紅葉は訪れる人を魅了します。皆さんも、見どころいっぱいこの地区をぜひ探訪してみてください。

光明寺

この町にも、由緒ある神社仏閣があります。その中でも「光明寺」(七日町五丁目)は、城下町山形の開祖であり延文二年(一三五七)に山形城を築城した斯波兼頼が自ら開山した寺院です。境内には兼頼の墓碑が建てられております。のちに子孫である十一代最上義光は五十七万国の大大名となり、現在の山形市の基盤をつくりました。



わが街自慢 パートII



第七地区

渡辺 彰

城西町に、財部稲荷大明神という神社があります。文禄元年、山形城主最上義光が三の丸拡張の折、城門十一口の一つである小田口(現在の城西町内)に守護神として建立されたと言われる。近くには塩硝蔵があったので祭典は豊受大神と火産霊大神(火の神)が祀られているのである。聞いた話によると昭和十七年に四日町渡辺吉兵氏が祭主で、その小作人が祭祀を挙行していたとのことだが、同年十一月、現在の城西地区十五万坪が軍の練兵場として収められた。

除く一部もと軍の農工隊を除き従前の耕作者に配分された。財部稲荷大明神は由緒ある稲荷というところで講中を組織し代表をきめ、祭祀日を六月十五日とし講中三十名で祭典をした。昭和六十年当時の講中の方が亡くなり、息子達は加入意志がないため、現在では城西町内会において祭典が行われている。毎年六月の第二日曜の祭典は盛大に行われている。

財部稲荷神社

昭和十八年、二十二年は当時の陸軍三十二連隊にて祭祀を挙行したとのこと。終戦により戦前の地主を



仲間たち



第四地区
草壁 衛

現役の時代、三十七年間勤めた会社を定年退職致しました。その当時、県内・県外に転勤になり、その時どきに知り合った友人、又は御客様との交流は、今もって続いております。ありがたい事です。又、寝食を共にした会社の同期生とは、今も山形市在住の人との月一回の、昼の食事会や、又、年一回同期生全員が集まり、酒を酌み交わしながら、親交を深めております。

又、現在は、シルバー人材センターより派遣されている職場（東口

交通センター）で、いろんな職種の人達がいるので、話題に事欠く事なく、和気あいあいと楽しく、業務に携わり、日常の仕事をやらせて頂いております。

この様に、何処に行っても、仲間達との触れ合い・交流は、得難い財産だと歳を経るごとに、つくづく感じます。季節は、まだ冬ですが、寒さも、もうすぐです。

春の足音が、もうそこまで一歩一歩、近づきつつある昨今です。

人生の大先輩からの教え



第十地区
瀬野健四郎

五十年ほど前に、長寿の秘けつを教わったことがあります。

その方は百歳近く、かくしゃくとして自宅の草むしりをしていました。初体験でしたが、私に人生とは

- 一、 実行だ！
- 一、 一少・三多だ！

であると言うのです。

さらに、とにかく、一度限りの人生、くよくよせず前向きに一所懸命に何事にも当たることに尽きると教えてくれたのでした。

私はちんぷんかんぷんだったので、どういう意味か聞いたところ

あ行とは あは明るく、いはいつまでも、うはうれしく、えは笑顔で、おは大いに楽しむ

一少・三多とは 一少は、少量（腹八分目） 三多は、多動、多眠、多接で字の如く

とかみ砕いて教えてくれたのです。それ以来、私は大先輩の言葉を肝に銘じています。そのお蔭であるのか私に係りつけの医者はいません。老翁を思い出しては、今は感謝するばかりです。

デコケーキつくりクリスマスに参加して



第三地区
石山 一美

女性部会のしるんばコミサロンに参加して、初めてのデコケーキつくり「不器用な私にできるかな」と不安でしたが、一生に一度、こんなチャンスは無いと思い参加しました。

講師の布施さんの紹介が有り、いよいよ実習です。トッピングするイチゴ、キュウイ等を適当な大きさに切ったり、用意してあるスポンジを

横半分切り準備OKです。次は、一番大変な生クリーム作りです。NHKの朝ドラにも、まれちゃん汗だくで泡立てているシーンがありましたね。まさにその通りです。ただ

ホイッパーで泡立てるのではなく、空気を入れるようにクリームを立たせる感じで廻すのです。手首と腕が痛くなり、皆さんと交替しながら頑張りました。さあ仕上げに入ります。

イメージしながら生クリームでデコレーションし、果物をトッピングして完成です。思わずうれしくて手をとりました。甘さも丁度良く美味しくて最高でした。写メールで娘に自慢し、妹にも分けて上げました。やさしく、丁寧にご指導してくださった講師の布施様と、女性部会の皆様、朝早くからご苦労様でした。ありがとうございます。

人生の出逢い



西部地区
横川 政子

今まで自分は、人の相談を受けたり、フロントの仕事をしてきて、色々な人に出逢ってきました。

この仕事を自分自身の都合で職場



多員の

健康・趣味



春いちばん

むかし昔のことである。ながい冬をほとんど塩干物ですごしたころ、春いちばんの青ものはクキタチであった。

おひたし、冷汁にして食うのだが、シャキシャキとした食感とさわやかな味に、誰もが春だという思いを深くした。冬用には茹でて干して、紙袋にいれてとっておき、煮ものにした。

最近、このクキタチについて学んだことがある。国分一太郎の『むかしのうまいもの』によると、クキタチというのは、前の年の晩秋に残しておいた菜の切り株から孫生え（ひこばえ）となって、もえ出ずるものの総称だとある。その菜には、結球しないサントウナ、カラシナなどがあるという。

辞書をひくと、サントウナは白菜の一品種の山東白菜（山東菜）のことで結球しない。明治のはじめに中国山東省から渡来したものだそうだが、カラシナ（芥子菜）はアブラナ科の越年草で、葉や茎に辛みがあり、種

子を粉末にしたものが辛子になる。

クキタチがこうしたものとは知らなかったが、思いあたることがある。生家では、前年の秋にタカナ（高菜・カラシナの一品種）を収穫した畑の雪がとけると、萌黄色のクキタチが伸びていた。「茎立ち」と表記すれば、わかるような気もする。クキタチは今でも食う。けれども、そのころの味は格別であった。

街なかを歩く

七十歳以上の市民を対象としたシルバー定期券というのがある。山交バスの定期乗車券のことだが、市の補助があつて三か月定期券が九千円。一か月あたり三〇〇〇円で、一般路線バスが乗り放題できる。市の補助は、家に閉じこもりがちになる高齢者の外出を促し、健康長寿を願うことにあるようだ。

この定期券を利用し、蔵王や天童上山などに出かける。車による移動に慣れた身には、バスは不便と思いがちだが、そうでもない。時刻どおりにバスが来ないこともあるが、大幅に遅れることはない。乗り継ぎの際の待ち時間も、本屋やデパ地下ののぞいたりすれば苦にならない。

起点までバスを利用し、よく街なかも歩く。駐車場を心配する必要はない。夏の暑い日には、行きつけの店でラーメンを食うまえに、ジョッキ一杯のビールが飲める特典もある。神社仏閣の前を通るときは手を合わせる。神社とは神を祀るものだが、その由来をみて余計なことを考えたよりもする。

神として祀られている彼らは、ある時代の平凡な人々だったのでないか。その地域で何かを為し、人々が代々記念していくうちに、長い歲月を経てその地の守護神となったのではないかなど。

バスに乗っていると、同じ定期券を利用して見かける。山形市議会報（平成二十八年二月一日）では、平成二十七年度の利用者の見込みは、延べ人数で約四七〇〇人。ひとり年四回購入とした場合の実際の利用者は一二〇〇人弱となる。高齢化率からすれば、利用者は増えていくのだろうか。

平成二十八年度以降も継続されることを望む。





粉塵が飛ぶためにメガネを

一人でします。

除く仕事を一人

かいで取り

エアード製品

に付着した細

かい塵を取り

除く仕事を一

人でします。

粉塵が飛ぶた

めにメガネを

杉澤 輝男 (ナチ東北精工)

ナチ東北工業は立谷川工業団地内にあり、道路を挟んで第一・第二工場がある。そこで派遣で働く杉澤さんを訪ねました。

はじめに担当の経営管理課総務係長の古里さんに、工場の沿革と概要、主な製品の説明をお聴きしました。谷地の工場で作る油圧機

「ロータリーセンタージョイント」は、国内シェアが八十%であると聞きビックリです。

その後、第一工場を案内いただき。中は縦に長く伸びて一つの大きな部屋。油圧機器の各部品がブロック毎に仕分けされており、その場で加工されます。加工された部品は、一番奥に集められ、一つの製品を組み立てます。派遣会員は四人、仕事内容は次のようです。組み立てた製品について油を洗

かけ、エアアの音から耳を護るため耳栓をしながらの仕事です。

第二工場でも一人で印刷機の部品にネジ穴を作る仕事をします。

この二つの仕事を一週間(五日間場合によっては六日)働き、次の一週間は休み、二人が休んでいる間は、他の二人が仕事に就きます。休み後の仕事内容は、前回とチェンジして働きます。

以前、仕事は一ヶ所に固定されていましたが、別の場所の仕事が解らず、急の休みで代わってもらった時は、不便が多々ありました。遠藤リーダーから担当者に願ひ出、その結果、今のようない体制に改善されたそうです。

勤務時間は、八時四十五分から四時三十分まで。昼の休憩は十二時から四十五分間です。

仕事で心がけていることは、製品が精密機械であるため、キズは致命傷になるので、落とさないように気をつけているそうです。

「派遣された当初は、少し戸惑いもしたが、今、自分にあつた仕事を頂いたと喜んでおります。健康に注意して、これからも仕事を頑張っていきたい」と決意を語ってくれました。(取材・広報部)

就業会員を訪ねて

渡辺 彰 (木の実北保育園)

すずらん通りを北に進み、最上義光歴史館を少し過ぎた道路東側にある「木の実北保育園」を訪問し、園長さんに同席して頂き、渡辺リーダーから話を伺いました。駐車場の作業で、親が各園児を送迎する車の道路と駐車場の出入りの案内、駐車場内での子供たちへの

目配り声掛けです。朝夕は道路の交通量が増え、車の案内が大変、通行している車に頭を下げ、お礼をいいながらの作業となる。ここでは、三人が、土・日・祝祭日を除き、ローテーションにより一ヶ月に約十三日の就業です。朝夕の仕事があり、七時三十分～八時三十分は二人で正面駐車場、八時三十分～九時三十分は正面と建屋裏の駐車場に一人ずつに別れて作業

します。朝の勤務が終われば帰宅し、夕方再び出勤、十六時十五分～十八時十五分迄、朝と同様に作業します。

子供達は、親の顔を見ると嬉しくて飛び出すので、特に注意が必要との事でした。

「オーライ、オーライのおんちゃん」と親しまれ、時には赤く



光る誘導棒を貸して上げたりして遊ぶこともあるそうです。

子供達との交流を深めるため、勤労感謝の日等には、合同食事会もあります。

渡辺さんは、夏は暑く、冬は寒い屋外での作業なので、各自、体調管理には十分注意し、ミスをせず、絶対に事故の無いようしなければならぬと話します。

園長さんから、開園以来、一度の事故も無く、駐車場の除雪や花壇の世話まで大変助かっていると感謝の言葉がありました。

園長さんをはじめお忙しい中、取材にご協力頂き有り難うございました。(取材 広報部)

シルバーに

人あり

技あり

心あり

歌を楽しみ

仲間と語りあひ



第二地区

鈴木 惇一

二月の第二水曜日、東部公民館の

一室に歌謡愛好会の会員が参集しま

した。女性六名、男性七名。十時に

なるとカラオケにあわせて歌のレッ

スンがはじまる。この日は村山市出

身の歌手北見恭子の二曲を含む三曲

で、準備された楽譜は、著作権に触

れないよう講師の工藤龍雄さんの手

書きによ

るものだ。

ときどき
講師の指
導も入る。
会長の
鈴木さん
は、この
会は歌う
ことの好
きな四人
で準備し、



平成十六年四月、シルバー最初の愛
好会として発足したと話す。以来、
レッスン曲は一二〇曲を超えるとい
う。

レッスンは一人で歌うこともある。
課外授業としてカラオケボックスで
歌唱力を競うことも。

歌うことだけではない。休憩時に、
持ちよった手作りの漬物などでお茶

を飲みながら、語らうことも楽しみ
である。山辺SCとの交流会、各地

の温泉や名所旧跡を巡り、忘年会な
どで親睦を深める。そこでは会場

いっばいに自慢の歌声が響くことだ
ろう。

養護老人施設を訪問し、歌を披露

することも年中行事のひとつとして

いる。世は歌につれ、歌は世につれ
といわれる。それぞれの人生を歩ん

だ入所者の琴線にふれる歌もあるに
違いない。

会の発足十年を記念した冊子の表
紙に「五線に煌めいて」という副題

がついている。これからも輝き続け
てほしい。
(取材・広報部)

新入会員紹介

(1月1日～3月31日まで)

第一地区	五十嵐 力	滝山一地区	小林 透
第二地区	石垣 武	西部地区	加藤 孝二
佐藤 誠		加藤 孝二	
第四地区	鈴木 信夫	出羽・明治地区	鈴木 宏始
第六地区	石山 純夫	金井地区	佐藤 義範
第七地区	小松 重徳	大郷地区	布施 清美
板花 孝幸		山寺・高瀬地区	大嶋 幸二
河田 章		三浦 正昭	
佐藤 靖男		武田 章	
山田 重孝		鏈水 裕一	
福川 満		池田 政弘	
第九地区	那須 満子	南山形・本沢地区	斎藤 光弥
鈴木一地区	澁谷 春男	南沼原地区	伊藤 繁安
鈴木二地区	佐藤 通	木村 高子	
千歳地区	上野 孝雄	大場 洋子	
鈴木 節子		丹野 喜一	
佐藤 幸義		吉野栄四郎	
高橋 勝也		遠藤 敏雄	
飯塚・樺沢地区	齋藤 秀一	大宮 三也	
東沢地区	黒木 健一	坂本 歌子	
黒木 徳治		桃谷 昌允	
芳賀 康穂		太刀川 弘	
古川 義孝			
滝山一地区	石沢 せつ		

事務局だより

(株)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)471647

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

年度替えの

手続きについて

更新と退会手続きをお早めに！

年度替えになり、会員の更新手続きの時期です。世話役の方々に会費の集金をお願いしておりますので、会費の納入をお願いいたします。

また、退会される方は、退会手続きが必要となりますので、各地区の班長までご連絡をお願いいたします。



■平成二十八年度

定時総会の開催

日時 六月八日(水)午後三時
場所 ホテルメトロポリタン山形
懇親会も予定しております。
詳細は後日ご案内いたします。

行事イベント案内

お知らせとお願い



■配分金支払日

- 四月二十日(水)
- 五月二十日(金)
- 六月二十日(月)

■入会説明会(午後一時三十分)

- 会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。
- 四月七日(木) 十四日(木)
 - 二十一日(木)
 - 五月十二日(木) 十九日(木)
 - 二十六日(木)
 - 六月九日(木) 十六日(木)
 - 二十三日(木)
- 就業相談日(午後一時三十分)**
(就業に関しての相談です)
- 四月十四日(木)
 - 五月十二日(木)
 - 六月九日(木)

壁紙(クロス)

貼り替え始めました

平成二十八年三月より、新たに壁紙(クロス)貼り替えの事業を開始しました。

これまでも、お客様からお問い合わせをいただいておりますが、作業を行うことのできる会員がいないことからお断りしておりました。

このたび、クロス張替の経験者から入会頂いたことで、新たに事業を開始することとしました。

お部屋の模様替えやがれてきたクロスの修理として、皆様のご自宅での貼り替えをしてみたいかがでしょうか？

お友達やお知り合いへも是非お声掛けください。

お問い合わせはシルバー人材センター事務局まで、お気軽にどうぞ。

《料金》

壁紙一メートルあたり

1,540円(材料費込)

※処分費は別途頂戴します。

地域の総合検診は

必ず受けよう！

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

あ と が き

本号より就業会員を訪ねてのコーナーが増えることになった。多くの会員が就業されている様子を取材し、業務内容を少しでも身近に感じとっていただきませんかお役に立てれば幸いです。

『駐車場管理』は施設や地域によって対応が違うだろうとはおよそ見当はついていましたが、今回は保育園にうかがった瞬間に眠っていた五感がぱっと目覚め久々に子供の世界へと思いを寄せた。

元気に走り回る子供達、大きな声で楽しそうに話す子供達：二人の子供を保育園に預けたころのことが思い出されて楽しいひと時を過ごした。

こんな元気な子供たちの姿を毎日見られてうらやましいなあと思った。現在携わっている介護施設との違いをまじまじと味わった感じだ。が、取材に応じて下さったリーダーの素敵な笑顔と仕事ぶりを拝見して『シルバー人材センター』の存在の大きさを感じた。

外は薄暗くなり、交通量も増え保育園への父兄の車も多くなる。上手に誘導して、一時停止してくれた人に深く頭を下げる会員。カッコイイ……と思わずつぶやく。雪が容赦なく降ってきた。いつまでも長く頑張ってください。